

## 吃音の3つの話し方



連発 (れんぱつ)  
お、お、おはよう  
言葉をくりかえす



伸発 (しんぱつ)  
お————はよう  
言葉をひきのばす



難発 (なんぱつ)  
・・・っおはよ  
言葉がすぐにでない

力の入らない連発は  
話しづらさのない楽な話し方です

難発などの声がでにくい話し方に  
悪化してくこともあります

## 吃音の誤解と 正しい知識

- ・ ストレスや愛情不足、育て方が原因
- ・ 吃音の話し方は人にうつる
- ・ 吃音を意識させると治らなくなる
- ・ そのうち治ると思って様子を見る
- ・ 話し方へのアドバイスが効果的
- ・ つまるたびに言い直しをさせる
- ・ 話しづらい難発はとても目立つ症状

- ・ 原因の多くは生まれ持った体質
- ・ 吃音は人にうつらない
- ・ 吃音についてオープンに話すと良い
- ・ 2～3割の子は自然には治らない
- ・ アドバイスがプレッシャーになる
- ・ 話し方ではなく話の内容に注目する
- ・ 難発は目立たず理解されにくい症状

制作 黒澤大樹 (言語聴覚士)  
発行 ふくしま吃音懇話会  
<http://fukushima-kitsuon.com>  
発行日 令和3年5月  
連絡先 kurosawa.daiki96@gmail.com

きつおん  
**吃音** について  
知ってほしいこと

吃音のある子の周りの方々へ

# きつおん 吃音って なんですか？

言いたいことはわかっているのに、思ったようになめらかに話せないことを吃音（きつおん）といいます

吃音のある人は世界で100人に1人います

でも、吃音のことを正しく理解している人はあまり多くありません

吃音の理解が広がることそれが、吃音のある人たちの“安心”につながります

## 吃音とは

吃音は2～5歳のころに20人に1人がなります  
7～8割の子は自然に治りますが2～3割の子は吃音がつづきます

吃音には3つの話し方がありそれぞれ話しづらさも違います

力を入れながら話すとき体が動いてしまうこともあります

思ったように話せないので話すことに消極的になってしまうこともあります

吃音があることで問題になるのは「なめらかに話せないこと」だけではありません

## 周りの理解がないとこまりやすいこと

- ・自己紹介
- ・健康観察
- ・発表会
- ・音読
- ・日直の号令
- ・マネされる
- ・からかわれる

※人によって変わります



## 吃音のある子の周りの方々へ

吃音のある子はわざと言葉をくりかえして話しているわけではありません

マネされたり、からかわれると声がでにくい話し方へ悪化します

吃音のある子の話し方を「その子の自然な話し方」と理解してくれる人が増えれば

吃音のある子は安心してたくさん話すことができます

周りの人の吃音に対する理解がとて大切になります

